

少人数指導 アンケート結果  
(平成28, 29, 30年度)

赤阪小学校

少人数指導について		A とてもよい	B よいと思う	C あまりよいとは思わない	D よいとは思わない	分からない	合計
○の数 割合 (%)	28年度	35 (80%)	8 (18%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	44 (100%)
	29年度	39 (80%)	9 (18%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	49 (100%)
	30年度	40 (75%)	11 (21%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (2%)	53 (100%)

**Q. 少人数指導についてご意見があればお書きください。**

- ・とてもありがたい体制だと思います。子どもの希望通りにクラスも分けてくれるそうで、子どもは喜んでます。過去には先生によって授業がうるさいから、「スイスイからコツコツに変わった。」と子どもが話しをすることがありましたが今はそれもないようです。「少人数指導は引き続きしてほしいなあ」と、思います。
- ・学力にあった授業か分からない。本人の希望で選択したコースなので「意欲的かどうか」のクラス分けではないでしょうか。
- ・クラスを二つに分けても学習内容が分からない子はいると思います。テレビでは、教師二人体制で、一人の先生が黒板を書いている間は、もう一人の先生は生徒の机を回り、つまずいている子には、すみやかに教えている姿をテレビで見ました。そうすれば分からないまま授業が終わるといったことはないと思います。
- ・授業の仕方によると思いますが、分からない子を置いておかないように指導を進めて欲しいです。
- ・一人一人に目が行き届き、良いと思う。
- ・少人数にしる大勢にしる、きちんと生徒を見てくれる先生は、ちゃんと見てくれるし、中途半端な先生は、少人数でも大勢でも中途半端だと思います。
- ・このまま続けて欲しいです。
- ・安心できます。子どもたちも質問しやすいと思います。
- ・学習のつまずきを把握でき、学力向上に繋がると思うのでとても良い取り組みだと思う。
- ・すすいでも分からないところがもちろんあるのですが先生に聞きにくいようです。
- ・少人数指導のクラスなのでよりきめ細やかな指導をしてきていると思っていたが、自宅学習の様子を見ると間違えた計算方法でずっと計算していた。家庭でも、もっと見てあげるべきでしたが学校でも気づいて指導していただくと助かります。
- ・子どもたちの理解度もそれぞれに違うので良いと思う。しかし、算数など一つの単元で終了してしまうものに対しては次の単元ができる子と苦手な子と理解度の違いがあるので今後、英語などに取り入れるとよいと思う。また、「できる」「できない」の格差が子どもたちの間で差別を生まないようにお願いしたい。上手に競争し合って学力向上に繋がって欲しい。

## →<ご意見に対して>

お忙しい中、ご意見ありがとうございました。赤阪小学校では、3～6年生の算数において少人数指導を実施しております。アンケートの結果、96%の方が肯定的に捉えていただいております。来年度引き続き継続していくつもりです。自由記述に関しましても「学力向上に繋がる」「子どもたちも質問しやすい」等、継続を希望する意見を多くいただきました。

しかし、一方、「間違えた計算方法でずっと計算していた。」というご意見もありました。もし、そういったことがありましたら、遠慮なく気づかれた時にすぐ学校にご連絡ください。その時にどのような指導をしていたのか、また、なぜそのようなことが起こったのか話し合っていき、そのようなことがないよう改善していきます。

また、「学習内容が理解できないままにしないで欲しい。」というご意見も複数ありました。児童にとって「分かる」「できる」の達成感は何より学習意欲の向上に繋がります。一人でも分からないという子が減るよう真剣に取り組んでいきます。

算数よりも英語において「少人数指導を実施する方が良いのではないか。」というご意見をいただきましたが、個人差が出やすい教科が算数ですので来年度も少人数指導は算数でと考えております。

また、若手教員とベテラン教員によって指導方法に違いができないように、担当教員同士の打ち合わせをさらに深めて、指導の内容や進め方の共通理解を図っていきます。

最後になりましたが「できる」「できない」が格差に繋がらないようにというご指摘もいただきました。いじめを生まないためにも、一人一人の肯定感を育てるためにもそのようなことがないよう常日頃から注意を払っていきます。

アンケートだけでなく日頃の指導やお子様の様子で気づかれたことがありましたら、些細なことでも結構ですのでご連絡いただければと思います。